

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

平成27年2月27日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

協議会名	協議会における事業評価結果	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果
		①事業の結果概要	②事業実施の適切性	
白山市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内公共交通の利用実績の分析</li> <li>・住民ニーズの把握調査</li> <li>・コミュニティバス「めぐーる」の交通網再編検討</li> <li>・地域公共交通会議の開催</li> <li>・地域交通ネットワーク計画のとりまとめ</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内公共交通の基礎的データの整理、コミュニティバス、つるぎふれあいバスの乗降調査などにより、市内公共交通の状況を整理、分析した。</li> <li>・市内高校へのヒアリング調査、ダイヤ・ルートの新設、大幅な変更のある地域へのアンケート調査により、地域住民の移動傾向、移動ニーズを概ね把握した。</li> <li>・利用実績、アンケート結果を参考に、交通会議に諮るダイヤ・ルートの素案を作成した。</li> <li>・これまで交通会議を3回開催し、様々な角度から交通網の再編を検討した。今後地元説明会を実施した後、再度開催する予定。</li> <li>・今後行う交通会議において、NW計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画どおり事業は適切に実施されている。</p>	<p>①計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点</p> <p>白山市交通ネットワーク計画策定調査業務 ①市内公共交通の利用実績の分析 5～7月 ②住民ニーズの把握調査 7月 ③コミュニティバス「めぐーる」の交通網再編検討 7～11月 ④地域公共交通会議の開催 7～11月 ⑤地域交通ネットワーク計画のとりまとめ 1月</p> <p>「つるぎふれあいバス」が撤退する鶴来地域を中心に、既存の公共交通との共存を図りながら、交通空白地帯の解消、さらなる利便性の向上を念頭に、地域住民の生活の足であるコミュニティバスのダイヤ・ルートを設定する。 なお、平成27年度確保維持事業(地域内ファイダー系統)の活用を見込んでいる。</p>	<p>事業実施の適切性については、自己評価のとおりであり、計画されている平成27年度地域内ファイダー系統確保維持計画の策定に向け、事業を進められるよう期待します。</p>